



全町連だより

第14号

町内会加入率調査 (R1年9月末)

人口・・・23,344人 加入世帯数・・・4,652世帯
世帯・・・11,253世帯 町内会加入率・・・41.34%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます (<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111 (内線220)



この企画は二年目ですが、きっかけは学園が昨年からの地域の「緊急避難場所」に指定されました。近頃、学校は、一般市民にとっては敷居が高くなってきていることから、これを機会に少しでも入りやすい学園になるよう、更に違和感なく避難できるようにと企画し、写真のように和やかに、且つ真剣にそれぞれのメニューに取り組みました。

災害特集

防災訓練実践報告

計根別町内連合会会長 佐藤 良文

計根別町内連合会は少子高齢化対策として、多世代交流を念頭に様々な企画をし、その実践を試みています。その一つとして、計根別学園の「一日防災学校」に参加を呼びかけ実施しましたのでお知らせします。

今後の課題として、平日だと参加者が限られることから、次年度は土曜か日曜に企画するようお願いしたところです。来年は三年前(その時は交流センター)のように、六十人以上の参加者を期待しているところです。



令和元年7月28日(日)中標津町総合文化会館と計根別交流センターにおいて、第十一回目となる中標津町議会報告会が行われました。

この報告会は、日頃町議会や議員の皆様が所属する委員会での活動を報告するとともに、会場に集まった参加者からの質疑に答える報告会となっております。

中標津会場と計根別会場の二つの会場には、十七名いる議員の皆様がほぼ半分に別れて、自己紹介されたあと四つの委員会報告と、議会概要・一般質問分析などの報告がありました。

この議会報告会は、開催前に、文書で「質問」等を、議会事務局に提出できます。

それにより、質問に応じた対策が取られ回答が得られる利点があります。ぜひ来年は皆さんも参加して議会に注目してください。



第51回中標津町社会福祉大会「ふれあいまつり2019」

佐々木 優

9月29日、中標津全町内会連合会では、社会福祉協議会主催の「ふれあいまつり2019」のお手伝いをしてきました。今年で51回目の大会ですが、数年前より「ふれあいまつり」として、より町民と社協とが身近になるように、幼児から高齢者迄楽しめる企画で、福祉機器、介護用品の展示や体験・おじいちゃん、おばあちゃん顔の似顔絵展示・レス



キューキッチン・雑貨、お菓子、野菜の販売・足湯・縁日、子供

達のダンスと最後の抽選会迄、様々な催しが行われています。目を引いたのが、今回初めての企画「車いすフリースロー」です、16名のトーナメント方式で小学生から大人まで男女一対一で対戦、優勝は小学生の男の子が10kgのお米をゲットし、盛り上がりました。

第11回中標津町議会報告会行われる。

道東ブロック町会内活動 研究大会・開催される

9月19日(木)20日(金)にかけて、釧路市で、令和元年度ブロック別町内会活動研究大会が、行われました。

この大会は、道央・道東・道南・道北の四つのブロックに地域を分けて、北海道町内会連合会・北海道社会福祉協議会が、主催しそれぞれの開催地が、主管をします。

今年のテーマは、「共に生きる地域づくり」がテーマで、基調説明・講演のあとに3つの分科会に分かれて、討議が行われました。

分科会に参加しての報告は、来る「町内会長会議」の席上で報告が行われます。



令和元年度「町内会長会議」 11月19日(火)10時から

令和元年度の町内会長会議が、中標津町役場3階301号会議室において10時から12時の間、開催されます。

講話は、「中標津町における防災対策について」で、役場総務課防災主幹徳永博之氏・防災主査の合田茂氏からの講話をいただいたあとに、道東ブロック会議に参加した三氏から、分科会の報告があります。

私たちの町内会②②

当町内会は、大通りからちよつと西寄りの南北に細長い地域です。現在は一四八戸が所属、年々減少傾向で高齢化も進んでいます。活動としては、春秋の一



親睦会でのソーメン流し

斉清掃や縁石雑草除去作業等の美化活動、末広公園周辺のゴミ拾いの後、焼き肉を行う親睦会、手作り料理で祝う敬老会、親睦パークゴルフ大会、夏休みラジオ体操会や子ども花火大会を開催。より多くの子ども達に行事に参加してもらおうとポイントカード制



防災講習会 (Do ハグ体験)

を導入しています。また、防災意識の高揚と災害時における町内会の役割、町内会区域での助け合い・支え合いをどのように構築していくか等を考える機会として毎年防災訓練・講習会を開催しています。



縁石雑草除去作業
(町営野球場前)

末広町内会長 澤向 憲一

私たちの町内会②③

計根別中央会は、文字通り5町内会の中央に位置し会員戸数39戸と、一番小さい町内会です。転勤者が少ない町内会なので近年高齢化が進み戸数



廃品回収

の減少が止まりませんが、会員同士の結束力は、この町内会にも負けていません。年間行事は、5月の一斉清掃に始まり春と秋の子供会の廃品回収、正美公園での花見、9月には、計根別神社祭りへの参加協力、10月の地域交流会等役員一丸となって協力しております。また1月の新年会には、各戸1品以上の料理を持参し、ゲーム等も行い大変盛り上がる行事のひとつです。今後も町内会活動に協力して安心・安全な町づくりを努めてまいります。



花見

計根別中央町内会長 三枝 邦夫

全町内会連合会の主な活動状況

〈事務局日誌より〉

- ★随時 町道における縁石の雑草除去ボランティア (町内会ごとに実施)
- ★7月 3日(水) 全町連女性部役員会の開催 (出席者7名、事務局2名)
- ★7月14日(日) 第11回なかしべつ330°開陽台マラソンの協力 (実行委員会) 会長1名 (選手監察員) 7町内会23名
緑町4名、白樺4名、桜ヶ丘1名、東中2名、旭第二5名、西町3名、川西4名
- ★7月17日(水) 全町連正・副会長・総務部長会議の開催 (出席者6名、事務局1名)
- ★8月 3日(土) 「りんどう園夏まつり」ボランティア (全町連女性部役員より5名)

- ★8月中旬 「安全・安心・どさんこ運動」への取り組みのお願い (チラシ回覧・配付)
- ★9月10日(火) 全町連 正・副会長・総務部長会議の開催 (出席者6名、事務局2名)
- ★9月10日(火) 全町連 第3回広報委員会の開催 (出席者9名、事務局1名)
- ★9月19日(木)～20日(金) 令和元年度 道東ブロック町内会活動研究大会 (釧路市 参加者8名、事務局2名)
- ★9月26日(木) 女性部役員会の開催 (出席者5名、事務局2名)
- ★9月29日(日) 町社会福祉協議会「ふれあいまつり2019」への協力 (役員3名)

◇町内会加入は…各町内会役員または全町内会連合会事務局(Tel73-3111内線220)へ申し込みを！



全町連だより

第13号

町内会加入率調査 (R1年5月末)

人口・・・23,373人 加入世帯数・・・4,665世帯
世帯・・・11,254世帯 町内会加入率・・・41.45%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます(<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111 (内線220)

令和元年度の中標津町全町内会連合会の定期総会が5月22日ウエディングプラザ寿宴にて開催されました。

総会では、来賓の西村穰中標津町長・西根辰美社会福祉協議会会長をはじめ、約30名の町内会長が参加して、「安心・安全な住みよいまちづくりの推進」を活動方針とする事業計画や予算を承認しました。

開会に当たり佐々木会長より、全町内会は「安心・安全なまちづくり」を常に目標とし、子供達の見守り、高齢者が安心して暮らせる環境づくりに努める。

町内会加入率が70%台から40%台にまで下がり、このままでは行政が進めているまち



令和元年度 全町内会連合会定期総会 安心・安全な住みよいまちづくりの推進

令和元年度全町内会連合会長表彰者名簿／永年町内会活動に尽力され功績が認められた方々

中野美津子	緑町町内会
柴野 忠征	末広町内会
佐々木幸雄	桜ヶ丘町内会
櫻庭 妙子	川西町内会
大内 傳隆	南泉町内会
成田 誠幸	旭第一町内会
川島 次夫	東町内会
越智 准子	第2宮下町内会
小笠原一男	旭第2町内会
阿部 恒子	西泉町内会
土肥 稔	白樺町内会
澤谷 修一	東中町内会
太田 香代	睦町内会

づくりが、末端まで届けられるのか、また近年多い災害に対して、防災の面でも隣近所の助け合いが無くて大丈夫なのか、との不安があります。

昨年度から年4回全戸配布となった「全町連だより」にて、町内会の活動を広報し、まちづくり・防災を推進し、行政と一体となって、より多くの町民の理解を促進し参加・加入の促進に努める。

との決意が述べられました。

令和元年度 事業活動計画

◆活動方針と主な方策

一 安心・安全な住みよいまちづくりの推進を図る。

○あいさつ・みまもり・たすけあい運動を推進する。

○町内に住む人たちが健康で安心に暮らせるよう地域での支え合いを工夫する。

二 情報発信を積極的に行い、町内会の活性化を図る。

○町内の生活関連情報を地域住民へ積極的に提供する。

○広報誌「全町連だより」を発行し、わかりやすい情報提供に努める。

○ホームページを活用した広報を推進する。

三 町内会への参加意識を高揚させ加入促進を行い、組織強化を図る。

○多くの住民が町内会の活動に参加できる仕組みを工夫する。

四 地域行事等に積極的に参加、協力する。

○第11回なかしべつ330。開陽台マラソンに協力する。

◆各部の事業

・会務運営の充実を図る

◇今年度の役員体制

会長 佐々木俊三	副会長 延 寿	小貴 正勝	伊藤 哲雄	遠藤 昭男
小貴 正勝	秋山 俊彦	新谷 誠治	有原 國男	後藤 順
佐々木 優	坂脇孝一郎	高村 隆	松崎 正幸	三枝 邦夫
佐藤 良文	高村 隆	松崎 正幸	三枝 邦夫	株田 宏
長正路 清	株田 宏	三枝 邦夫	株田 宏	株田 宏
理事 小貴正勝(兼)	伊藤 哲雄	秋山 俊彦	坂脇孝一郎	高村 隆
小野寺 学	高村 隆	松崎 正幸	三枝 邦夫	株田 宏
監事 遠藤 昭男	新谷 誠治	有原 國男	後藤 順	端 裕子
小嶋美智子	細矢 栄司	館下 裕典	館下 裕典	館下 裕典

・情報誌を発行する

・諸会議・新年交流会の実施

・町内会への加入を促進する

〈厚生福祉部〉

・地域福祉の向上に連携を図る

・高齢者の実態を把握し地域での支え合いの仕組みの工夫

〈環境衛生部〉

・全町一斉清掃の実施

・道路縁石の雑草除去

・ごみ減量に関する調査研究

・資源回収運動の推進

・環境・衛生意識の向上

〈交通安全部〉

・安全で住みよいまちづくりの推進

・犯罪・青少年の非行・交通事故に対する防止策

・交通安全運動への参加

・防災・防火思想の普及

・自主防災組織の育成

〈子供育成部〉

・全町連子供育成部運営会議

・子供リーダー研修会

〈女性部〉

・女性部活動の強化、充実

・自主活動の推進と各町内会女性部との連携

・女性リーダー研修会、先進地域との情報交換

平成30年度町内会・自治会広報コンクール「佳作」受賞

このコンクールは町内会・自治会の広報活動が、活発になるよう平成2年度から4年おきに実施されているコンクールです。

審査基準は、定期的に年2回以上の発行が条件で、本紙「全町連だより」は、連合町内会部門10作品の中で、「見出しと本文の書体に、メリハリとデザイン的にも、まとまりがあると」「佳作」の5紙の中に選ばれました。

町内会の役員に「防災担当者」の設置を!!

平成30年の新年会に佐々木会長から、防災を意識し、各町内会の役員に「防災担当の役員を」という趣旨の発言がありました。町内会の役員の役職として明確な任務として任されている町内会は少ないと思います。

「大きな地震が起きるかも」とその危険の確率がとて高いと話されているところだ。

役員としてどのように取り組んで行くのか? 関係の方々とお話進めて行きたいと思っています。

あいさつ、みまもり、たすけあい

子どもの安全のみまもり、こころがけていきましょ

春の一斉清掃に各町内会が取り組みました。

31町内会、約1,900名が参加し
総重量6.4tのごみを回収しました。



私たちの町内会②0

緑町町内会長 柿本 智

緑町町内会は、中標津市街地の西側に位置し、北は運動公園隣の「ケイセイ木材」さんから南はR272沿いの東当幌付近の「NST工業」さん迄の広範囲に渡る地域です。現在、会員101戸が加入しています。

主な活動は、①春・秋の環境整備（一斉清掃・花壇作り・観桜会等）②町内ふれあい祭り（今年10「毎回約130名参加」）③防災訓練（炊き出し訓練等「毎年実施」）④子供会行事（ラジオ体操・花火等）⑤敬老行事（70歳以上の方々への記念品の贈呈等）⑥その他親睦会等、各部・各委員と連携を図りつつ「助け合い精神」を軸に「安心・安全で「住み良い」街づくりに努めています。



炊き出し訓練



町内ふれあい祭り

私たちの町内会②1

計根別旭町町内会長 太田 輝幸

当町内会は、計根別農協の周囲に位置する町内会です。計根別の5町内会の中でも会員数が100件を超え、大人数の町内会となっており、町内会加入率も常に90%以上と高い数字となっています。

町内会活動としては、5月の一斉清掃及び子供会による廃品回収。終了後行われる全町一斉の花見、7月には、七夕祭りを実施して子供から高齢者までが集まり、夏の夕べを楽しみながら親睦を深めています。

また、恒例の計根別神社祭りへの参加協力等、各イベントには多数の参加を頂き、活気ある町内会となっています。今後も、町内会活動や地域交流に協力し、住みよく安心安全な街づくりに努めてまいります。



5月の一斉清掃



子供会による廃品回収



全町一斉の花見

全町内会連合会の主な活動状況

〈事務局日誌より〉

- ★2月26日 正・副会長・総務部長会議の開催
- ★3月下旬～ 交通安全旗・防犯旗 希望町内会へ配付
- ★4月～第1金曜と第3金曜(女性部)
中標津りんどう園
施設クラブ活動に係るボランティア
(習字・生け花)
- ★4月17日～ 町道における縁石の雑草除去作業の
実施受付開始
- ★4月18日 根室管内町内会連絡協議会
正・副会長会議(根室市)
- ★4月26日 全町連役員会の開催
- ★4月26日 全町連役員選考委員会の開催
- ★5月 春の一斉清掃の実施(各町内会)
- ★5月21日 全町連 子供育成部運営会議
- ★5月22日 全町連定期総会・表彰式の開催

- ★5月26日 ねむろ自然の番人宣言「ごみゼロの日」清掃奉仕活動協力
(25町内会75名参加)旭第一、旭第二、東、泉中央、川西、
清泉、桜ヶ丘、白樺、末広、第一宮下、第2宮下、西泉、栄、
西町、東泉、東中、日の出、まこと、緑町、南泉、南町、睦、
武佐、開陽、北町
- ★5月28日 全道町内会活動研究大会・表彰式(札幌市)
★町内会・自治会広報コンクール表彰
受賞「全町連だより」佳作
- ★5月29日 北海道町内会連合会総会(札幌市)
- ★5月30日 全町連女性部 役員会の開催
- ★6月 3日 全町連広報委員会(第2回)の開催
- ★6月 6日 全町連女性部定期総会の開催
- ★6月13日 根室管内町内会連絡協議会総会・交流会(標津町)

◇町内会加入は…各町内会役員または全町内会連合会事務局(Tel73-3111内線220)へ申し込みを!



全町連だより

第12号

町内会加入率調査（1月末）

人口・・・23,485人 加入世帯数・・・4,793世帯
世帯・・・11,202世帯 町内会加入率・・・42.79%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます (<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111（内線220）



今年の全町内会連合会の新年交流会は新しい年が安全で住みよい地域になるよう、去る1月17日（木）午前11時から「寿宴」で開催されました。その概要をお知らせします。

今年全町内会連合会の新年交流会は新しい年が安全で住みよい地域になるよう、去る1月17日（木）午前11時から「寿宴」で開催されました。その概要をお知らせします。

中標津町全町内会連合会 新年交流会開催

安全で住みよい地域に…

「昨年日本各地で多くの自然災害に見舞われ、安全が、より一層安心にならなうな町づくりに努めたい。同時に町内会への加入率が向上するように行政としても考えていきたい。地域活動の充実発展を図り、住みやすさナンバーワンの町づくりを目指していきたい。」という趣旨でした。次に社会福祉協議会の西根会長より社協への協力のお礼、高齢化に伴う福祉活動や町民のニーズの多様化に配慮されるように、活動を進めていきたいという旨の話がありました。

「昨年日本各地で多くの自然災害に見舞われ、安全が、より一層安心にならなうな町づくりに努めたい。同時に町内会への加入率が向上するように行政としても考えていきたい。地域活動の充実発展を図り、住みやすさナンバーワンの町づくりを目指していきたい。」という趣旨でした。次に社会福祉協議会の西根会長より社協への協力のお礼、高齢化に伴う福祉活動や町民のニーズの多様化に配慮されるように、活動を進めていきたいという旨の話がありました。



- ・道路関係（舗装、維持管理など）12件
- ・高齢者対策（免許の自主返納など）2件
- ・共同墓地について2件
- ・町内会の加入について2件
- ・除雪について1件
- ・行政と住民の情報共有について
- ・地震、大雨など自然災害について
- ・防犯灯（街灯）

◇意見や課題書の項目

町では町民の皆さんが住みやすく住み続けたいまちづくりのため、毎年各町内会からの課題等の提言を取りまとめ町より回答しています。本年度は13の町内会から意見や課題書の提出があり町から回答が多く、町民の皆さんに関わる2件の内容を紹介します。

- ・町内会役員の担い手
- ・不登校児童生徒
- ・人口減対策
- ・閉校後の校舎利用
- ・砂利の採取
- ・知床ナンバー
- ・格子状防風林
- ・ふん尿のにおい
- ・ゴミステーションに監視カメラ
- ・地域会館の維持管理
- ・町道の草刈り

- ・空き家対策
- ・町のイメージキャラクター
- ・街路樹
- ・医療費
- ・企業の税金
- ・「町内会加入促進条例（仮称）」
- ・町の家庭菜園
- ・児童館の建物補修
- ・「林業大学」について
- ・「道の駅」の設置
- ・子どもたちが安全に遊べる公園

平成30年度
まちづくりに関する意見・
地域の課題書の中から
―町内会から町へ、その回答―

後の懇親会、敬老会、夏祭り、サクランボ祭りなどの話がありました。中でも地域の行事に子どもを呼び込む世代間の交流、焼き肉の時ににおにぎりをやめ災害時に備えてビニール袋でご飯を作るなど示唆に富む発表や行事の余興で「現

金のつかみ取り」といったユニークな話もありました。最後は佐藤全町連副会長の計根別地域における三世代交流などの紹介と住みよいまちづくりと健やかな1年を祈念する締め言葉で終了しました。

以上のように道路関係が一番多いですが項目・内容は多岐にわたります。このうち近年の社会状況から関心が深い「運転免許の自主返納」と「共同墓地」について町の回答（要旨）を掲載します。詳細は町ホームページ「まちづくり」で見ることができます。

〈町からの回答〉

◇運転免許の自主返納について

高齢者へのタクシーチケット等の助成等の移動支援は、外出機会が増えることによる生きがいの高揚や、健康増進を始め、さまざまな効果が見込まれますが、町域の広い本町においてはバス路線や運行本数が少ないなど公共交通が整っていない地域にお住いの方々もあり、タクシー利用助成のみの移動支援策では不公平感が生じることが懸念されます。



免許を自主返納することにより、外出の足がないことで日常生活が不便になる方や、社会との関わりが減るなど制約を受け閉じこもりがちな生活になることを防ぐなど、当町の実情に合った自主返納しやすい環境づくりに努めます。

（生活課）

◇共同墓地について

平成27年に行った「墓地に



関するアンケート調査（対象者無作為抽出）では、約3割の方が合葬墓を必要と回答しており、お墓を管理する方全体では、さらに増える数値と考えております。

このような状況を踏まえ、現在、合葬墓建設に係る協議を行っており、条件が整い次第、早急に建設したいと考えております。

その際は、町民の皆様にお知らせいたしますので、ご理解をお願い致します。（生活課）

〈資源庫の利用について〉

*各町内会にある資源庫には、再生資源である新聞・チラシ、本、ダンボールのみ、必ずピロでしぼって置いてください。しぼらないものは回収されません。また発泡スチロールなど他の物は置かないなどルールを守って利用しましょう。



あいさつ、
みまもり、
たすけあい

子どもの安全の
みまもり、
こころがけて
いきましよう

私たちの町内会⑱

西泉町内会長 高村 隆

発足 昭和52年4月1日

42年前 泉町内会として活動してまいり、その後将来を見据え4つに分割し西泉・泉中央・南泉・東泉が誕生しました。西泉町内会は今現在164戸の会員が所属しております。戸建個人住宅が多く、年に4〜5戸の新築がある閑静な住宅街であります。

西側には中標津町運動公園、北側には標津川、南側には泉児童公園があります。通り抜け交通の無い（交通量の少ない）自然豊かな子どもを育てやすい地域であると同時に高齢者にも優しい地域です。又泉児童公園そばに泉保育園の建設も計画されています。町内会では会員皆さんとの親睦をはかり、共に助け合いが出来ますよういろいろな行事を行っています。最終居住地をお考えの皆さん戸建建設を計画中の皆さん、どうぞ西泉地区に移転されては如何でしょうか。



夏の町内会まつりの風景



春の一斉清掃前の集合場面

私たちの町内会⑲

計根別東町内会長 谷川 好則

当町内会は、計根別東6丁目〜8丁目（計根別学園）の区域で市街の東端に位置し永年居住している方が多い町内会です。

町内会活動としては、環境整備（一斉清掃・草刈り・花壇づくり）・交流会（花見・家族親睦会・子供会及び神社祭への協力等）を実施していますが、高齢者の方々（会員・家族）が自発的に企画・開催（月1回）している「東会ふれあいサロン」の支援で、健康長寿を願う孤立孤独にしない町内会づくりに努めています。



東会ふれあいサロンと幼稚園児との交流会



計根別学園通学路の沿道花壇づくり



計根別神社祭 演芸披露（「東会だ！」）

全町内会連合会の主な活動状況

〈事務局日誌より〉

- ★11月21日 全町連広報委員会（第4回） 出席者8名、事務局1名
- ★1月6日 平成31年中標津町新年交礼会（中標津・計根別） 全町連会長出席
- ★1月17日 全町連新年交流会 11時〜寿宴 参加者26名、来賓2名、事務局3名
- ★1月18日 町内会回覧チラシのお願い（行政・関係機関からのチラシ市街地480隣組長あて）
- ★1月21日 全町連女性部役員新年会 参加者3名、事務局1名
- ★2月4日 全町連広報委員会（第5回） 出席者8名、事務局1名



◇町内会加入は…各町内会役員または全町内会連合会事務局（TEL73-3111内線220）へ申し込みを！



全町連だより

第11号

町内会加入率調査（10月末）

人口 ……23,515人 加入世帯数 ……4,811世帯
世帯 ……11,210世帯 町内会加入率 ……42.92%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます (http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/)

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111 (内線220)

2019年の新春を迎えて

中標津町全町内会連合会

会長 佐々木 俊 三



穏やかに新春を迎えられた事をお喜び申し上げます。昨年9月に起きた胆振東部地震で被災された方に心よりお見舞い申し上げます。又この地震でブラックアウトになり、北海道全域で経済活動、消費生活に於いて多くの被害がありました。中標津町では2万1千戸最長43時間の停電、被害総額も1億8千万超にもなったところで改めて災害の恐ろしさを感じました。全町内会も、地震等の防災対策を重点課題とし取り組むと共に急速に変化している生活環境の中で子供達の安全と高齢者を見守り、又災害時要援護者登録数も増加する中で、活動を地域に密着したものにさらに進めて行きたいと思っています。情報によりますと根室方面30年以内の地震の発生率も78パーセントと高くなりこれからは災害は必ず来る(例えば最悪な時・極寒期の真夜中)と捉え、先ずは各戸で備えましょう。安心・安全な住みよい笑顔の絶えないまちづくりに努力を致します。地域の皆様の参加協力とご理解を頂きますようお願い申し上げます。

全町内会連合会 町内会長会議開催

この会議は町内会活動を取り巻く今日的な課題を取り上げ、単位町内会の現状や課題を交流し今後の活動に役立てようとするものです。去る11月21日(水)役場会議室で行われました。その内容の概要をお知らせします。

1 講話「9月の地震を経験して」行政と町内会が今後の防災対策を考える、役場総務部防災主幹 徳永 博之 氏

平成30年9月6日(木)午前

3時7分 胆振地方中東部を中心とする最大震度7の地震が起こり、それに伴い道内全域(295万戸)で停電が発生しました。中標津町では約21000戸、停電時間の最長は約43時間でした。当町における被害は商工関係2900万円、農業関係1億5千万円、町有施設39万円で合計約1億8千万円という事です。役場では地震発生後直ちに非常電源を確保し、計6回の災害対策本部会議を開催し対

応に当たりました。それは町の備蓄食料の配布、携帯電話などの充電所の設置、断水箇所への給水、被災地への職員派遣などでした。

今回の地震による停電への対応について検証を行い、課題の洗い出しを行い今後の防災対策を考えているそうです。その内容は防災体制と活動、備蓄食料の配布、物資及び資機材の備蓄、充電所の設置、情報提供、広報のあり方、要配慮者への支援体制、防災に関する啓発活動などです。



町内会に望まれる対応としては「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、地域の人々が自主的に防災活動を行うことが必要です。特に災害時には①災害情報の収集及び住民への迅速な伝達、②出火防止と初期消火、③避難誘導、被災住民の救出・援護、④給食・給水活動、また平常時には①防災体制・協力体制の構築(自主防災組織の結成)、②防災知識の普及、③地域の災害危険の把握、④防災訓練の実施、⑤防災資機材の備蓄と整理・点検など行政と連携して備えることが大切です。

2 道東ブロック町内会活動研究大会参加報告

①第1分科会(町内会の福祉活動)：佐々木 優 泉中央町内会長

②第2分科会(町内会の防災活動)：佐藤 一美 東町内会長

③第3分科会(町内会の育成)：小貫 正勝 南町町内会長
以上3名からそれぞれ報告がありました。このうち第1分科会において中標津町東中町内会澤谷修一福祉部長が実践活動報告をしました。
3 平成31年度新年交流会の開催について(決定)

・期日 平成31年1月17日(木)
11:00～13:00
・会場 寿宴
・会費 4,000円

4 実践報告「泉中央町内会地域アンケートの調査結果」について

泉中央町内会 佐々木優会長

平成30年1月に実施した地域住民の意見や課題について集約し、今後の地域社会づくりに役立てようとするもので、その結果の発表がありました。

「あいさつ・みまもり・たすけあい運動」

全町連ではこの運動を進めています。
◇あいさつ：隣近所、お互いにあいさつ、日ごろの交流を大切にしましょう。
◇みまもり：高齢者、子どもたちのようすに関心を持ち見守っていきましょう。
◇たすけあい：お互いの思いやりの気持ちをもち日常生活を送りましょう。

「写真の町 東川町」から来町

東川町自治振興会より、町内会活動や運営について意見交流をしたいとお話があり、平成30年10月29日(月)14時から中標津町役場にて研修会を開催しました。

東川町(人口8,313人、3,868世帯)からは、自治振興会役員16名と事務局2名、当会からは会長・副会長・部長5名と事務局2名が出席しました。

佐々木会長の歓迎のあいさつからはじまり、自己紹介、その後意見交流となり、「組織の概要」、「災害時における町内会での取り組み」、「町内会運営に関する悩み・課題」など話は尽きなく予定の2時間はあっという間でした。



東川町自治振興会との意見交流の様子

私たちの町内会⑬ 旭第2町内会長 斉藤 満

私達の町内会は、旭町内会を(第1、第2)昭和42年に2分割して誕生した町内会です。現在、会員数142戸、賛助会員8戸となっています。

部会は総務・福祉・防犯交通・環境衛生・会員交流の5部会で構成されており、各部会の事業によっては、役員全員で手助けをして活動を盛り立てています。特に町内会発足当時より行われている秋の収穫・味覚祭りである「芋掘り・バーベキュー親睦会」は、世代交流の活性化を図るふれあいの輪であります。みんなが笑顔になれる、そしてお互いに支え合える町内会をめざして活動しています。



8月「旭第2ふれあい祭り」今年も盛況のうちに終了しました。



武佐にて「芋掘り」



救命・救急隊員による心臓マッサージ講習会

私たちの町内会⑭ まこと町内会長 小笠原 潤

まこと町内会は今年で設立13年目の若い町内会です。約500m四方に住居が立ち並び、公園・小河川があり、閑静な住宅地です。町内会の事業としては、70歳以上の高齢者宅を役員が毎月訪問を行う「顔見知り事業」、子ども育成として「ラジオ体操・花火大会」、全体事業では「道路清掃・道路草刈」、東中町内会との合同事業「中標津神社例大祭参加・子ども餅つき・流しソーメン」を実施しています。

今年は町内会の悲願であった「まこと町内会館」を建設しました。構想から約7年、会員皆様からの寄付などで完成に至りました。今後は会館を核に更なる町内会の連携を深め、住んで良かった町内会を目指します。



H30.9.2 まこと町内会館落成記念式典にて



「歩いて行けるよね。」 ー待望の町内会館ー

会館建設委員会 澤 野 功

まこと町内会は、平成17年に設立され今年で13年目になります。町内会の活動は東中町内会館・もりたセレニーホール等をお借りして行っていました。

23年に会館建設の声が上がり、25年に建設準備に委員会・28年に建設委員会を設立し準備を進めてきました。建設資金は会費の値上げをせず、積立と町内会員の篤志寄付の二本立てにしました。会員の皆様方の温かいお力添えに感謝の気持ちで一杯です。

9月2日(日)の落成式には西村町長をお迎えし、餅つき・手打ち蕎麦・焼肉等で盛大にお祝いをしました。これからは自前の会館で、地域の老若男女が集い、地域の繋がりが一層強まるものとお大変嬉しく思いました。



全町内会連合会の主な活動状況

- 8月21日 全町連 第3回広報委員会
- 9月19日～20日 平成30年度道東ブロック町内会活動研究大会(根室市)
- 第1分科会「町内会の福祉活動について考える」座長…全町連副会長 原 怡男さん
- 実践報告者…東中町内会福祉部長 澤谷修一さん
- 記録…全町連総務部長 佐々木優さん
- 9月23日 社協 ふれあいまつり2018への協力
- 9月25日 女性部研修会(1回目)の開催

- 10月1日 社協 赤い羽根共同募金出発式・募金運動への協力
- 10月9日 女性部交流研修会の開催
- 10月14日、21日 「ねむろ自然の番人宣言」秋の一斉清掃
- 10月19日 全町連 正・副会長・部長会議
- 10月23日 平成30年7月豪雨災害義援金寄付(日本十字社)
- 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金寄付(日本赤十字社)
- 10月26日 中標津町交通安全協会主催「高齢者講習会」への参加
- 10月29日 東川町自治振興会視察研修 来町
- 11月1日 女性部研修会(2回目)の開催
- 11月21日 全町連町内会長会議の開催



全町連だより

第10号

町内会加入率調査 (H30年7月末)

人口……23,497人 町内会加入世帯数…4,810世帯
世帯…11,189世帯 町内会加入率………42.99%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます (<http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111 (内線220)

地震などの災害に強い まちづくりはどう取り組むか

安全で安心して暮らせることがすべての町民の願いです。今回は、地震などの災害に強いまちづくりをテーマにして取り上げることにしました。

ご承知のように、先日政府の地震調査委員会が今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を公表。中で、北海道東部の確率が大幅に上昇し、根室市が63%から78%に引き上げられました。

いつ起こるか分からない地震などの災害にどう備え取り組んでいくのか、これまでの震災での経験や想定されることを踏まえ、公助・共助・自助の観点からいっしょに考えていきたいと思います。

①中標津町における地震対策の取り組み(公助)について

7月20日に町役場を訪ねて徳永博之総務部防災主幹から町の地震対策についてお話を伺うことができました。

○大雨や大雪などの気象災害は、気象情報に基づき早目の対応が可能であるが、地震の場合は予測ができないので、普段からの備えが大切である。町では、様々な災害を想定して対策を講

じている。

具体的

には、地

震に対す

る事前の

啓発をは

じめ、発

生後の2

次災害の

防止や避

難行動へ

の対応に

ついて、

町の緊急

情報メー

ルやホーム

ページ、

TV、ラ

ジオなど

を通して

の情報を

提供を行

っている。

○町民の

皆さまに

は、普段

から地震

に対して

関心をも

ち、備蓄

品の用意

や住宅の

耐震化な

どを進め

ていただ

きたい。

とりわけ、

昭和56

年5月31

日以前に

31日以前に着工した住宅については、耐震性が低い可能性があるので、住宅の耐震化をお願いしたい。町では耐震化に対する支援策として、耐震診断は8万9千円、設計は10万円、改修工事は70万円を上限に、その費用の一部を補助している。

○

町として、学校や社会福祉施設、浄水場などの多数の方が利用する公共施設の耐震化率は100%となっている。地震などによる断水が発生したときは、耐震化された浄水場から給水車により被災地域内へ輸送して飲

料水を供給する。

○地域の防災力の向上を図るため、町民への出前講座をはじめ、小、中、高校生を対象に防災教育を推進するとともに、地域防災のリーダー養成のため、高校生以上の町民を対象に研修会を実施している。

○地震などの災害に強いまちづくりのためには、行政による施策(公助)と町民による自助、町内会や団体による取り組み(共助)により、地域の防災力の向上を図ることが大切である。

○

地震などの災害に強いまちづくりのためには、行政による施策(公助)と町民による自助、町内会や団体による取り組み(共助)により、地域の防災力の向上を図ることが大切である。

○

町が実施している災害時要援護者(70歳以上の登録者)台帳を受けて高齢者の支援体制づくりに取り組んでいる。

○

具体的には、災害の際の安否確認と避難支援活動、救出活動を行うことや、要援護者に対する地域支援者の対応が円滑に進むように努力している。

○

「地震は必ずやってくる。事前予知は不可能」ということを踏まえて、地域における自主防災組織の設立や強化に努力する。

○

地震などの災害には、自分の身は自分で守る「自助」が重要である。

③個人や家庭における取り組み(自助)について

地震などの災害には、自分の身は自分で守る「自助」が重要である。

○

すぐに手をつけられるのが、家具の固定化(し字金具など)、開き戸のストッパー取り付け、安全なスベール(倒れてくるものがない部屋、机の下等)の確保、脱出口の確保、火の始末、懐中電灯や非常用食料・水の備蓄などを心がける。

○

自宅(ブロック塀のある場合も)の耐震性の診断と対応(設計や工事)を進める。地震の発生の際は、自宅の耐震化の状況や町などからの地震情報をともに、避難行動(避難場所や移動方法の選択)を適切に行う。

④地震などの災害に強いまちづくりは、行政と町民、町内会の共同努力を

いつ起こるか分からない災害について、日ごろからの備えが命を守る。そのため、行政と町民、町内会・団体による共同努力が大切である。



多くの町民が参加し、加入できる町内会に

町民のみなさん 町内会は、人々とのふれあいの場を作り、住民一人では対応できない時に助け合い、支え合いながら快適で住みよい「まち」をつくる活動をしています。多くの町民が参加し、加入できる町内会にご理解・ご協力をお願いします。

いま、町内会では、このような活動をしています

下記は、町内会活動の一例です。お住まいの地域では、それぞれ特色を生かした活動が行われています。

- きれいな地域づくりをめざし、「春・秋に一斉清掃」「公園整備」「花いっぱい運動」を実施しています。
- 「新聞、ダンボール、雑誌類」の資源ゴミを回収し、資源の再利用の取り組み。
- 各町内会では、地域での交流をめざした「お祭り」をはじめ、「子どももちつき大会」や「観桜会」、「新年会」、「敬老会」、「パークゴルフ大会」、「作品展示会」、「夏休み中のラジオ体操」など多彩な行事を行っています。
- 町内会の範囲の中で「サロン」を開設し、人々のふれあいと仲間づくりに取り組んでいます。



- 「災害に備えた様々な訓練」をはじめ、「独居高齢者の見守り」や「夜回り隊」「防犯パトロール」「通学児童安全パトロール」「子ども育成部の活動」などに取り組んでいます。
- 「町内会だより」や「全町連だより」を発行し町内会活動の広報に努めています。
- 各町内会では、毎年「まちづくりに関する意見・地域の課題を町に提言」や「道路整備・補修・除雪作業への要望」、「街灯の実態把握や補修・設置要望」を行っています。
- 町内会を通じ、「町や関係機関からのお知らせ」



今後の町内会活動で大切にしたいこと

安心・安全な住みよいまちづくりの推進に努めます

- あいさつ・みまもり・助け合いの推進に努めます。
- 町内に住む人たちが、健康で安心して暮らせるように地域での支え合いを工夫します。
- 道路の整備やゴミ問題など地域の共同の課題の解決に向け町内会が自助努力するとともに、行政と協働して対処します。



地震や大雨、大雪などの災害に強いまちづくりに努めます

- 地震や大雨、大雪等の災害に備え、自分の身は自分で守る自助が基本ですが隣近所や町内会の助け合い(共助)や行政の支援(公助)が大切です。
- 災害に際し住民や高齢者の安否の確認や必要な支援・救助に努めるとともに、自主的な防災体制を確立し、行政と住民、町内会の共同の努力が大切です。



多くの町民が参加し、加入できる町内会に

- 住みよく安全で安心な生活を支える町内会では、皆さまの参加・加入をお待ちしております♪
- 町内会への加入は、町内会長または役員・隣組長(班長)にお申し込みください。



ご不明な点は、【中標津町全町内会連合会事務局】へ
中標津町丸山2丁目22番地 役場 生活課内 TEL (0153) 73-3111

全町内会連合会の主な活動状況

- ★ 7月8日 第10回なかしべつ330° 開陽台マラソン協力
(実行委員会) 会長1名
(選手観察員) 10町内会33名
緑町4名、白樺4名、西泉3名、桜ヶ丘1名、
東中2名、旭第二5名、泉中央4名、
西町4名、川西4名、東2名
- ★ 7月23日 第1回根室管内地域いじめ問題等対策連絡協議会(別海町1名出席)

- ★ 7月27日 子供の読書活動推進事業の開催(こども38名、大人38名)
「納涼おはなし会 図書館百物語〜現(うつつ)の巻〜」
- ★ 8月 「安全・安心・どさんこ運動」への取り組みのお願い(チラシの回覧・配付)
- ★ 9月19日〜20日 平成30年度道東ブロック町内会活動研究大会(根室市)
- ★ 9月25日 女性部研修会の開催「もう一度確認しよう! ごみの分け方・出し方・減らし方」



全町連だより

第 9 号

町内会加入率調査 (H30年5月末)

人 口…23,516人 町内会加入世帯数…4,818人
世 帯…11,188人 町内会加入率…43.06%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のHP（生活環境）にてダウンロードできます（<https://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>）

●町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111（内線220）

開会に当たり佐々木会長よりご逝去された飯島郁夫末広町内会長の「冥福をお祈りする弔意が表わされました。全町内会は、「安心・安全なまちづくりを常に目標として、隣近所での助け合い、子

平成三十年度の中標津町全町内会連合会の定期総会が五月二十五日ウエディングプラザ寿宴にて開催されました。総会では、来賓の中標津町宮川睦副町長・西根辰美社会福祉協議会会長をはじめ、約三十名の町内会長が参加して、「安心・安全な住みよいまちづくりの推進」を活動方針とする事業計画や予算を承認しました。



平成三十年度 全町内会連合会定期総会
安心・安全な住みよいまちづくりの推進

どもたちの見守り、高齢者が安心して暮らせる環境づくりに努める。また、町内会活動を広報する「全町連だより」が町の予算付けをいただき、「あかり」裏面利用から独立し、年四回発行し、町の広報と同様に配布されるようになり多くの町民の理解を促し参加・加入の促進に努める。」との決意が述べられました。

平成三十年度全町内会連合会長表彰者名簿／長年町内会活動に尽力され功績が認められた方々

細矢 栄司	桜ヶ丘町内会
菊地 修一	養老牛町内会連合会
本 庄 英昭	睦町内会
延 寿	東中町内会
高橋 源幸	明生町内会
千葉 清志	白樺町内会
工藤 忠吉	西泉町内会
中塚 利勝	旭第二町内会
佐藤 信夫	川西町内会
井上 正信	清泉町内会
吉田 博	旭第一町内会
熊谷 隆義	第二宮下町内会
三浦 京子	末広町内会
品堀 博文	泉中央町内会
坪谷やす子	桜ヶ丘町内会

平成30年度 事業活動計画

◆活動方針と主な方策

一 安心・安全な住みよいまちづくりの推進を図る。

○あいさつ・みまもり・助け合いの推進を図る。

○町内に住む人たちが健康で安心して暮らせるように地域での支え合いを工夫する。

二 情報活動を活発にし、まちづくりにつなげる。

○町内会活動の情報を地域住民に提供し共有されるように工夫する。

○「全町連だより」を発行し広報活動を進める。

三 町内会への関心や参加・加入を促すように工夫する。

○多くの住民が町内会の活動に参加・加入できる仕組みを工夫する。

四 なかしべつ330開陽台マラソンに協力する。

◆各部の事業

〈総務部〉

- ・会務運営の充実を図る
- ・情報紙を発行する
- ・諸会議・新年交流会の実施

・町内会への加入を促進する

〈厚生福祉部〉

- ・地域福祉の向上に連携を図る
- ・高齢者の実態を把握し地域での支え合いの仕組みの工夫

〈環境衛生部〉

- ・全町一斉清掃の実施
- ・道路縁石の雑草除去
- ・ゴミ減量に関する調査研究
- ・資源回収運動の推進
- ・環境、衛生意識の向上

〈交通防犯部〉

- ・安全で住みよいまちづくりの推進（犯罪、青少年の非行、交通事故に対する防止策）
- ・交通安全運動への参加
- ・防災、防火思想の普及
- ・自主防災組織の育成

〈子供育成部〉

- ・全町連子供育成部運営会議
- ・子供リーダー研修会

〈女性部〉

- ・女性部活動の強化、充実
- ・自主活動の推進と各町内会女性部との連携
- ・女性リーダー研修会、先進地域との情報交換

◇今年度の役員体制

会長 佐々木俊三	副会長 原 怡男	理事 小野寺 学
延 寿	小貴 正勝	佐藤 一美
小貴 正勝	佐々木 優	小貴 正勝
佐藤 良文	伊藤 哲雄	佐藤 正勝
長正路 清	秋山 俊彦	伊藤 哲雄
須崎 剛	松崎 正幸	秋山 俊彦
	邦夫	松崎 正幸
監事 小沼 悟	遠藤 昭男	有原 國男
館下 裕典	端 生田 勲	小嶋美智子
	細矢 栄司	裕典

今年の春の一斉清掃は、5月13日または20日に各町内会が実施し、自分たちの住む地域がきれいになりました。その中の3つの町内会の事例を紹介します。

○東町内会の取り組み

5月13日に84名の参加のもとに、東町内会の地域の道路（三丁目や道道）をはじめ、花壇の整備及び公園の遊具の組み立て設置を参加者が力を合わせて行い、地域の環境美化と整備を進めることができました。

○南町町内会の取り組み

5月13日に約150名の参加のもとに、住んでいる道路のごみを回収するとともに、ふだん目が届かない不法投棄の物件をみつけ処理しました。今年から小中学生の参加もあり今後に期待。

○川西町内会の取り組み

5月13日に76名（会員と地域のらうふ、萩の里の方々）のもと、会館周辺の町道とりんどう園入口までの道道

春の一斉清掃に各町内会が取り組み 身近な地域がきれいになりました

俣落線の道路を清掃。参加した子どもたちの「小さな手」での回収体験は貴重。不法投棄をみつけ役場に連絡し処理していただく。

○町が主催する「ごみゼロの日」の清掃活動に、町内会も参加しました。



当日（5月27日）は、747名（企業、団体、役場職員、町内会より67名も）が参加しました。

午前7時に役場の駐車場に集合し、清掃場所、開陽地域北11号（26、28、28、30）の広い範囲を参加者が手分けして約1時間半程度の回収作業を行い、目的の達成に尽力。

私たちの町内会⑭

第2宮下町内会長 太田 眞澄

第2宮下町内会は、西2条から西5条通り、南5丁目から旧線跡までの位置にあり、比較的面積の小さな町内会です。

当地区は公営住宅、福祉住宅が多く、他の町内会同様に高齢化、少子化が進み町内会加入者も年々減少しているのが現状です。

現在、会員を増やすため加入促進の案内文と役場作成のパンフレットをセットで未加入世帯に配布し、加入促進を図っております。主な活動を紹介します。

一、鯉のぼりの掲揚

5月の連休中、2ヶ所の児童公園に鯉のぼりを設置し、地域

の方に好評を得ております。

2、夏祭り

8月に双葉公園にて、射的、わたあめ、焼き鳥等の露店を出し、夏の一日を楽しんでいただいております。

その他、クリスマス行事、敬老会、新年会、女性部では日帰り旅行を行っております。今後新たな行事を考え魅力ある町内会を目指していきます。



私たちの町内会⑮

南泉町内会長 豊田 高明

南泉町内会は、西11条通りより西へのび運動公園までの町内会です。

町内会独自の事業を紹介します。

☆泉保育園の花植え。

☆マイカルテの設置

☆夜回り隊防犯パトロール。

☆災害予防準備及び実施体験等が挙げられます。



西11条通り植樹マースに花の苗木を移植



通学路児童安全パトロール



全町内会連合会の主な活動状況

3月末～ 交通安全旗・防犯旗 希望町内会へ配付
4月～ 第1金曜と第3金曜（女性部）
中標津りんどう園 施設クラブ活動に係るボランティア（習字・生け花）
4月9日～町道における縁石の雑草除去作業の実施受付開始
4月18日 根室管内町内会連絡協議会 正・副会長会議（根室市）
4月25日 全町連役員会

5月13日、20日 春の一斉清掃実施（各町内会）
5月22日 中標津町全町内会連合会子供育成部運営会議
5月27日 ねむろ自然の番人宣言「ごみゼロの日」清掃奉仕活動協力（25町内会67名参加）
5月25日 全町連定期総会・表彰式
6月15日 中標津町全町内会連合会女性部定期総会
6月22日 根室管内町内会連絡協議会総会・交流会（中標津町）

平成30年中標津町全町内会連合会 新年交流会の開催

平成30年の新年を飾る恒例の全町内会連合会新年交流会が1月17日(水)寿宴において、西村横町長、西根辰美社会福祉協議会会長、山田康司教育委員会教育長を来賓に迎え、各町内会の代表など総勢39名が参加して盛大に開催されました。

冒頭、佐々木俊三会長は、「各町内会では、災害への備えや加入率低下など様々な課題を抱えている。そのような中、昨年は中標津町議会議員との懇談会を開催し、全町連の活動方針や現状と課題、とりわけ加入率アップに議会の皆さんにご理解をいただきました。本年も安心安全で住みよいまちづくりに取り組んでまいります。」と今年の抱負を述べました。

また、西村町長より、「町内会の皆さんが、日頃からまちづくりに取り組んでいただいていることに対するお礼。町内会の加入率の低下は全国的な課題ですが、価値観の違いも対応するよう工夫に期待したい。また今年も災害に備え、子育ての対応などのまちづくりに含めて努めてまいりますので皆さんの協力をお願いいたします。」と。西根会長より、「社会福祉協議会に全町内会連合会から地域代表として、評議員や理事の参加をいただいていることのお礼。さらに、町内会への加入率低下には町をあげて取り組んでいくことが大切です」と。山田教育長からは、「コミュニティスクールの実現に向けた取り組みは、学校だけではなく地域や町内会の力をかりて子供を育てて行く営みであり、皆さんのご理解とご支援をお願いいたします。」とそれぞれご挨拶をいただきました。



全町連 新年交流会

交流会は原副会長の乾杯で始まり、各町内会で順番に自己紹介を兼ねてそれぞれ町内会の自慢話を披露していただきました。

南町町内会の小貴正勝さんは、「定期的に町内会だよりを発行し、情報提供していることが自慢です。」また、西町町内会長の館下裕典さんは、「私が町内会長であることが自慢です。」と会場を沸かしてくれました。

余興では、中標津二二二コマジッククラブの臼井茂さんに昨年に続き、マジックを披露していただきました。

各町内会の情報交換や交流を深めて、最後に佐藤良文副会長の締めで終了いたしました。

多くの方々のご出席を頂き、楽しいひと時を過ごせたことに感謝申し上げます。

私たちの町内会 ⑫

明生町内会 秋山 俊彦

明生町内会は東31条(佐々木テントさん)より俵橋16線までの南北の町内会で、一番東地区になります。全世帯数535世帯、加入世帯数252世帯、加入率47.1%(12月現在)残念ながら、50%を切っております。町内会の特徴としては、企業数が町内で一番多く、住宅と会社、工場他が入り混じっており、一日中交通量が多く、決して閑静な住宅街ではありません。

その割に、舗装道路が他の町内会から見ると少なく、舗装を希望する住民の皆様より苦情を寄せられております。どうか早く舗装になることを希望いたします。

町内会行事を紹介します。

- ・1月新年会(60名)麻雀大会(30名)
- ・4月総会(新隣組長紹介)(70名)
- ・5月春の一斉清掃・公園焼肉(70名)
- ・5月〜10月(6回)月例パークゴルフ大会(30名)9月はバスで地方大会
- ・明生ゴルフ大会(春と秋)
- ・夏季ラジオ体操の実施(夏休み)
- ・8月明生焼肉パーティ(100名)
- ・10月ソフトボール大会の参加
- ・カラオケクラブ毎月2回
- ・親睦スポーツの会、週2回(ミニバス・卓球・バドミントン)
- ・敬老会 毎月3回〜4回例会、旅行
- ・明生という字「明るく元気に生きる」をモットーに町内会活動をして



スポーツで健康づくり

私たちの町内会 ⑬

東泉町内会 小野寺 学

私たちの東泉町内会は、中標津高校(石川板金)様の西5条通りを、北5丁目付近から西側に挟んだ標津川までの北側に位置します。

中標津は、どの町内会も住みやすい環境にありますが特に(文教・体育・公共機関・コンビニ)までがほぼ1km前後の徒歩圏にある事が挙げられ、町立病院に行ける「バス路線」も走っております。

ただ、ご多分にもれず会員宅の「少子高齢化」は進んでおり、ほぼ会員の家庭の冷蔵庫には、「マイカルテ」と呼ばれる救急車が駆けつけた時に、既往歴・薬歴等を書いて入れてある(写真参照)ものを備えて付けております。また、断水・停電になっても3日間、自宅で頑張れるよう、「高密度ポリエチレン袋」で、「ご飯・旨煮」などが作れるよう災害訓練にも力を入れて普及しております



会員玄関ドアと冷蔵庫に貼ってあるステッカー



冷蔵庫の中に入れてある容器

全町内会連合会の主な活動状況

子供育成部一年間の主な活動状況

- ・5月23日 中標津町全町内会連合会子供育成部運営会議 (役員2名、町内会子供育成部長8名出席)
- ・6月4日 根室地区子ども会育成連絡協議会総会・研修会(中標津町6名参加)
- ・7月10日 第1回根室管内地域いじめ問題等対策連絡協議会・根室管内子ども会育成連絡協議会
- ・9月16日〜18日 道子連創立50周年記念北海道子どもキャンプ「ネイパル砂川」(中学生2名参加)
- ・9月17日 「根室管内地域子ども会のつどい」(中標津町3名参加)
- ・10月14日〜15日北海道子ども会育成連合表彰 北海道地域子ども会育成研究協議会受賞(第二宮下町内会)
- ・11月23日 「ドッチビー講習会」(24名参加)

中標津町の人口 23,610人
中標津町の世帯数 11,123世帯
町内会加入世帯数 4,999世帯
加入率 44.94% (H30年2月末)

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のHP(生活環境)にてダウンロードできます。
(<https://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouen/>)

町内会についてのお問い合わせ
中標津町全町内会連合会事務局
0153-73-3111 (内線220)

平成三十年の新春を迎えて

中標津町全町内会連合会長 佐々木 俊三

皆様、明けましておめでとうございます。穏やかな新春を迎えられた事にお喜び申し上げます。

昨年、当地には大きな災害もなく、各町内会の皆様は、平穩の内に活動されたことと思います。しかし、日頃から災害に対する備えをすることは大切です。そんな中、町内事業所より各町内会に緊急避難セットの寄贈をいただき災害に対する意識は一段と高まったと感じるところです。一方、近年、高齢者を狙った特殊詐欺被害が毎日のように報道されています。これは日常で世間話や相談をする相手がいらないなど、隣人との付き合いが希薄になっていくことなどにも一因があると思います。町内会活動がこうした近所付き合いや家族の信頼関係のすれから起るトラブルを未然に防ぐ一助となれば幸いです。また、全町連では、様々な問題や課題の解決に向けて、町や町議会とも連携して進めています。元気な子供たちを見守れる町、みんなの笑顔が見られる町にしたいと考えています。本年も安心安全で住みよいまちづくりを目標に活動して参りますので、皆さん、ぜひ町内会活動に参加して私たちの住む町の活性化にご協力をお願いします。

中標津町議会との懇談会



中標津町議会との懇談会

11月6日中標津町議会（後藤議長・松村副議長・佐藤議員・鈴木議員・水石議員）と町内会連合会（佐々木会長・他理事10名）との懇談会が開催されました。

懇談会の目的は、町議会に全町連の活動方針や現状についてのご理解とご支援を頂くためでした。

中標津町全町内会連合会

町内会長会議の開催

11月22日に全町連 町内会長会議が開催されました。（24町内会参加）

内容は

・道東ブロック町内会活動研究大会（北見市）の研修参加報告

・第一分科会「町内会の福祉活動について考える」サロン活動で仲間づくり・健康づくり

・第二分科会「町内会の防災活動について考える」安心して暮らすために災害に備えた取り組みを

・第三分科会「町内会の育成について考える」役員を補佐する体制で、みんなが支え合う

二 女性部より活動報告及び標津町標準地区町内会連合会女性部との交流について発表がありました。

三 中標津警察署生活安全課長 辻浩史氏を招き「日々進化する特殊詐欺の現状と対策」「子どもたちの安全を守るためのスマートフォン取り扱いについて」講習会を実施しました。



全町連 町内会長会議

私たちの町内会 ⑪

南町町内会長 小貫 正勝



南町町内会活動拠点の町内会館

南町町内会地域には町立病院、社会福祉センターなどの公共施設や大型の商業施設などがあり、近年新築の住宅やマンションなどの建設も多く、宅地の空き地が年々少なくなってきたています。その中で現在約260世帯が町内会に加入しています。

主な行事としては今年で13回目を迎えた「夏祭り」があります。実施までに多くの人が関わり、当日はたくさんの人で賑わいます。また新年会も一大イベントです。これらの行事を一つの節目として互いの親睦や交流を深めております。町内会主催のラジオ体操はプラットの駐車場を会場に今年で4年目を迎え、4月から10月まで毎日行っており、健康増進と親睦に役立っています。

災害など「いざ」という時にも役立つ町内会」を目指して、日常的に町内会の動きが分かるように「南町だより」を毎月定期的な発行し、「あいさつ、みまもり、助け合い」を心がけるように訴えています。これからお互いの結びつきを深められるよう活動していこうと考えています。

全町内会連合会の主な活動状況

- ・8月31日 全町連正・副会長会議
- ・9月26日 道東ブロック町内会活動研究大会（北見市）参加
- ・9月24日 ふれあいまつり
- ・10月1日 赤い羽根共同募金協力（中標津町社会福祉大会）開催協力
- ・10月11日 全町連正・副会長・総務部長会議
- ・10月25日 全町連正・副会長・部長会議
- ・10月15・29日 各町内会 秋の一声清掃実施
- ・10月27日 中標津町交通安全協会高齢者講習
- ・11月6日 中標津町議会と全町連役員との懇談会
- ・11月22日 町内会長会議の開催
- ・11月22日 第40回中標津町表彰式
- ・11月22日 第40回中標津町表彰式
- ・9月14日 全町連女性部会研修会開催「町長を囲む会」
- ・10月3日 全町連女性部会研修会開催「地域で育む元気な子」
- ・10月16日 全町連女性部役員会
- ・11月1日 標津地区町内会連合会女性部との「交流研修会」の開催

中標津町の人口 23,688人
中標津町の世帯数 11,125世帯
町内会入会世帯数 5,000世帯
加入率 44.94%（H29年11月末）

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のHP（生活環境）にてダウンロードできます。
(<https://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenhouren/>)

町内会についてのお問い合わせ
中標津町全町内会連合会事務局
0153-73-3111（内線220）

「地域の子どもは地域で育てる」「コミュニティ・スクールスタート

今年度の事業活動計画は「安心・安全な住みよいまちづくりの推進を図る」「あいさつ・みまもり・助け合い運動を推進する」「高齢者をはじめ、住民が健康で安心に暮らせるよう地域での支え合いを図る」です。今年度より学校教育「コミュニティ・スクール」が始まり、全町内会連合会としても全面協力していく事になります。

初年度は、計根別学園・中標津中学校・中標津小学校でスタート、活動の様子を中標津小学校横山校長に聞いてみました。

コミュニティ・スクールと町内会

中標津小学校校長 横山 裕充

「コミュニティ・スクール(以下CS)」は、「学校運営協議会」を設置している学校のことを言います。

この委員になった方々の役割や権限については、法律や町の規則に定められています。今後全ての公立学校でCSが進められます。

さて、なぜCSなのでしょう。学校においては、学校の中だけでは解決ができない、あまりにも多岐にわたった多くの課題があります。

一方、学校が存在する「地域」には、学校に通う子どもたちとその保護者が含まれているにもかかわらず別物として活動しています。

本来一つであるはずの地域学校がそれぞれの悩みを抱えながら協力せずにいる状態といえるのではないのでしょうか。

先人は、新たな地に入植すると、まず初めに神社と学校を建てました。

「地域の子どもは地域で育てる」この当たり前のことをもう一度やることで、学校も地域もお互いになるように、何よりも地域の宝である子どもたちのために、協力し合えたら良いのではないのでしょうか。



地域住民と一緒に花壇整備

そのため、現在8名の本校の学校運営協議会委員は、中標津の将来を担う子どもたちに地域と学校ができることは何かを熟議しながら、できることから進めているところです。

今年度は、以下を実施します

① 学校便りの町内会へ配布回覧

② PTA環境整備に地域住民も参加

③ PTAの活動「ふれあいフェア」で地域住民も出店参加。

④ 地域住民との防災訓練

⑤ 総合的な学習の時間等の学習支援

私たちの町内会⑨

中央町内会会長 菊池 勤

今年の神社祭も好天に恵まれ、近隣町内会の子供達の参加を頂き、お祭りを大いに盛り上げることが出来ました。

大変うれしく思っております。中標津神社祭の当初から、中央町内会として長い歴史の中、パレードに参加して参りました。

時代の移り変わりで、パレードに参加する町内会が年々少なくなり寂しく、大変残念に思っております。

パレードに参加するには、費用等諸事情もあると思いますが、町の賑わいや子供達にお祭りの楽しみや夢を作ってほしいと願っております。

中央町内会は、中標津町の中心商店街として自覚を持ち、これからも神社祭を盛り上げて参ります。



中標津神社例大祭の山車

私たちの町内会⑩

旭第一町内会会長 伊藤 哲雄

私たちの旭第一町内会は、東2条から東7条までの下側地区と、東4条から東7条までの東小学校周辺の高台地区からなり、全世帯



中標津神社例大祭の集合写真

数461戸のうち会員戸数は220戸で、加入率は48%となっています。隣組班は23班に分かれています。また、役員構成は9組織となっています。

行事はほぼ毎月行っていますが、皆さんに喜んでいただける主なものをご紹介します。

①5月の「春のレクリエーション」は、花壇整備の後、焼肉パーティーをして皆さんとコミュニケーションをとります。

②6月の「親睦パークゴルフ大会」③7月の中標津神社祭典への参加。子供や大人の皆さんが大勢参加し、楽しい一日を過ごしています。

④9月の町内会主催「敬老祝賀会」約45名の方が参加し、カラオケ、踊り、ビンゴゲームなどを楽しんでいただいています。

私たちの町内会の自慢は、レクリエーション部と女性部とが連携して大きな行事の際は手料理でもてなしをしていることです。

行事のほか現在、町内会で取り組んでいることは、民生委員と町内会組織の中の「健康推進部」が連携して町内会の高齢者の安否確認体制を整えたり認知症予防の研修などを工夫しながらすすめています。

全町内会連合会の主な活動状況

- ・3月末「交通安全旗・防犯旗配付
 - ・4月7日 「小規模多機能自治」講演会
 - ・4月19日 根室管内町内会連絡協議会正・副会長会議(根室市)
 - ・4月26日 全町連役員会
 - ・5月8日 全町連東部地区連合会長会議
 - ・5月25日 全町連定期総会
 - ・5月23・24日 全道町内会活動研究大会及び連合会総会(札幌市)
 - ・5月7日・21日 春の一斉清掃実施
 - ・5月28日 ねむろ自然の番人宣言「こみぜ口の日」清掃奉仕活動に協力
 - ・6月「町道における縁石の雑草除去作業の実施」
 - ・6月16日 根室管内町内会連絡協議会総会・交流会(別海町)
 - ・7月9日 なかしべつ330。開陽台マラソン協力
 - ・8月16日 「安全・安心・とさん」運動「チアシ配布
 - ・その他 各会総会・役員会出席
 - ・4月「第1金曜・第3金曜 中標津りんどう園 ボランティア協力
 - ・6月8日 全町連女性部会役員会
 - ・6月21日 全町連女性部会定期総会
 - ・8月5日 中標津りんどう園まつり参加
- 中標津町の人口 23,711人
- 中標津町の世帯数 1,115世帯
- 町内会入会世帯数 5,006世帯
- 加入率45.03% (H29年8月末)
- 中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のHP(生活環境)にてダウンロードできます。
- (<https://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seika/su/zenchuren/>)
- 町内会についてのお問い合わせ
- 中標津町全町内会連合会事務局
- 0153-73-3111 (内線220)

平成29年度 全町内会連合会定期総会
地域の安心・安全のまちづくりの推進



平成29年度の中標津町全町内会連合会の定期総会を5月25日（木）トーヨーグランドホテルにて開催しました。

来賓の西村穰町長・西根辰美町社会福祉協議会会長をはじめ、約30名の町内会長が参加し、「地域の安心・安全のまちづくりの推進」を活動方針とする事業計画案や予算案を承認しました。

開会式の挨拶で佐々木会長が、「全町連では、昨年より町内会活動の様子を「あかり」等による情報提供や町のホームページを活用（町長との懇談会で了承）による情報発信を行い、情報の共有に努めてきました。当面する課題として、あいさつ、見守り、助け合い運動の推進や町内会への参加・加入促進（会員の減少の防止）に取り組んで参りたい」との決意を述べました。

来賓の西村町長より「私も地域の一斉清掃に参加し、和気あいあいと楽しく知り合いをつくる喜びを味わいました。今後、特に高齢者や住民が健康で安心して暮らせるよう、自助・共助・公助によるまちづくりを推進し、町内会活動を一層盛り上げていただきた」と期待が寄せられました。

西根社会福祉協議会会長より「社会福祉協議会の活動は、各町内会長や全町連よりの地域代表として理事や評議員など、いろいろな立場からお世話になっております。

今後、町内会活動を通して、災害の備えや対応を図っていただきた」と期待が述べられました。

このあと、総会では、西竹町内会の有原國男会長が議長に選任され、平成28年度の事業報告・決算報告・監査報告がなされ承認されました。

次に、平成29年度事業計画及び予算案、役員改選が事務局と各部の部長並びに役員選考委員会から提案され、慎重な審議の結果、提案がそれぞれ承認されました。

平成29年度事業活動計画

◇活動方針と主な方策

- 一 安心・安全な住みよいまちづくりの推進を図る。
 - あいさつ・みまもり・助け合い運動を推進する。
 - 高齢者をはじめ、住民が健康で安心に暮らせるよう地域での支え合いを図る。
- 二 情報のあるまちづくりを進める。
 - 町内会活動の情報を地域住民へ提供し、共有されるように工夫する。
 - 全町連として、生活情報紙「あかり」を通して広報活動を進める。
 - 町ホームページを活用した広報を推進する。
- 三 町内会への関心や参加・加入を促すように工夫する。
 - 町内会の役割や活動状況を周知する。
- 四 ○多くの住民が町内会の活動に参加・加入できる仕組みを研究する。
 - ・なかしべつ330。開陽台マラソンに協力する。

◇各部の事業

〈総務部〉

- ・会務運営の充実を図る。
- ・情報紙を発行する。
- ・諸会議・新年交流会の実施。
- ・町内会への加入を促進する。
- 〈厚生福祉部〉
 - ・地域福祉の推進
 - ・高齢者の実態を把握し、地域での支え合いの仕組みの工夫
- 〈環境衛生部〉
 - ・全町一斉清掃の実施
 - ・道路縁石の雑草除去
 - ・ごみ減量に関する調査研修
 - ・資源回収運動の推進
 - ・環境衛生意識の啓発
- 〈交通防犯部〉
 - ・安全で住みよいまちづくりの推進（犯罪、青少年の非行、交通事故に対する防止策）
 - ・交通安全運動への参加
 - ・防災、防火思想の普及
 - ・自主防災組織の普及

私たちの町内会⑧

東町内会長 佐藤 一美

- 〈子供育成部〉
 - ・子供育成部運営会議
 - ・子供会リーダー研修会
 - ・いじめ問題等対策協議会
 - 〈女性部〉
 - ・女性部活動の強化・充実
 - ・女性部自主活動の推進
 - ・各種住民運動への参加協力
- 東町内会は、昭和39年（東京オリンピック）の年に発足しました。当初は35戸から始まり現在の「東北海道いすゞ」の辺り一帯に「雪印乳業」の工場があり、その雪印乳業の「酪農会」と昭和42年に合併し、現在に至ります。
- 東13条から東19条にかけて、自動車関係、建設業、ガソリンスタンドなど、様々な事業所があり、近年は商業施設等もでき、人口も増加していますが、町内会の加入率が低い状況です。
- また、公住等の入れ替わりが多いので、なかなか町内会に加入してもらえません。こうした現状を踏まえ、多くの住民が参加・加入できる町内会を目指しています。

やみとなつていきます。また公住等に独りて住む高齢者が増えましたが、町内会に加入しておらず、災害時などどう対処したらいいのかが今後の課題です。

中標津神社例大祭に山車参加

◇今年度の役員体制

会長	佐々木 俊三	副会長	原 怡男
理事	延 寿	中野 美津子	佐藤 良文
	長正路 清	須崎 勤	菊池 一美
	佐藤 正勝	小貴 正勝	佐々木 優
	伊藤 哲雄		
監事	館下 裕典	細矢 栄司	小嶋 美智子
	端 裕子	生田 勲	有原 國男
	横田 千秋	小沼 雅智	菊地 明彦
	秋山 俊彦	細谷 明彦	

中標津町の人口 23,731人
中標津町の世帯数 11,113世帯
町内会入会世帯数 5,010世帯
加入率 45.08%（H29年5月末）

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のHP（生活環境）にてダウンロードできます。
(<https://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

町内会についてのお問い合わせ
中標津町全町内会連合会事務局
0153-731-3111（内線220）

平成29年中標津町全町内会連合会 新年交流会の開催



全町連 佐々木俊三会長

します。」と挨拶をいただきました。交流会では、参加者の自己紹介を兼ねた町内会の現状や課題、抱負を語り、情報を交換しました。また、ステージでは「中標津ニコニコマジッククラブ」の臼井茂さん、渡辺悦子さんによるマジックショーが行われ、軽妙な語り口と参加者を魅了し、大好評でした。終わりに、佐藤副会長より加入率の向上には町内会活動及び行政のサービスの実践が必要との挨拶で終了いたしました。



新年交流会の様子

中標津町成人式

西村町長より、「まちづくりにとって町内会活動は大切な部分であります。全町連の発展と皆さまの幸せならびに今年が何とか良い年であるますようお祈り申し上げます。」

西根会長より、「災害への備えや地域福祉の充実に町内会の役割が貴重であり、加入率が減少する中、町内会長、役員の方々の頑張りに期待申し上げます。」

小谷木教育長より、「町内会の皆さまには子供達の見守りや健全育成へ尽力いただきお礼申し上げます。今後地域と共に『コミュニティ・スクール』の実現にご理解とご支援をお願いいた

1月7日中標津町の成人式が総合文化会館で催されました。佐々木全町連会長も来賓として出席し、新成人に「今、大きな希望をもって輝いている皆さんへ、縁には家族との血縁や人と知り合う知縁があります、その縁を大事に生きてください、人生色々な事が起こります、困難な事もその縁があればきっと乗り越えられると思います。またふるさと中標津を大事にしてください、この町に住む方は、是非町内会に加入し、活動していただきたいと思います。」と祝辞を述べ

ました。今年の中標津町の新成人は284名です。少子高齢化が進む中でついに人口減少が始まった中標津町、ま

ちの未来を託す多くの若者がこの町に残り、自分達の夢に向かって、この地域を活性化してくれるように願いたいものです。



記念撮影

第3回女性部研修会

「避難所運営ゲーム」

2月9日女性部研修会「避難所運営ゲーム」北海道版（DOはぐ）の研修会が開催され、町内会女性部を主に、参加人数43名と盛況でした。

中標津町より徳永防災主幹と上田防災係の指導のもと、7人のグループに分け、真冬に地震が起き、避難先の学校でどのような方法で避難所を運営して行ったら良いのか、疑似体験しながら学びました。2時間の研修はあっという間に過ぎ、参加者より、「非常に勉強になった、町内会単位でも開催したい」との声が多く聞かれました。



与えられた課題に真剣に取り組む参加者達

私たちの町内会 ⑥

当幌地区連合会会長 長正路 清

安心・安全な住みよいまちづくりの推進を活動方針として、全町内会連合会が活動しており、近年、災害時の対応と町内会の取り組み、また地域福祉、高齢者対策など議論される機会が多くなっています。昨年は立て続けに4度も台風が直撃し、河川の増水による被害が心配されるなど、災害の少ない地域ではあるが対策を考える必要性を感じる年でもあった。しかし、郡部地区においては、地区連合会全体での対策を考えるのは無理がある状況です。

町内会加入率が低下している中で、郡部地区においても在住戸数は増加したが未加入者が増し、また営農を中止した後の連合会活動などの協力が消極的な事が近年の悩みであります。

当幌地区連合会の活動については、1月の総会に始まり4月には開拓記念祭と長寿を祝う会を毎年実施、この事業には町長さん、社協の会長さんにも御案内し出席していただいています。

9月には当幌神社祭を開催、地域全体の親睦と交流を図り長年続けており、この2つの行事には、子供から年寄りまで100名近い住民が参加し楽しんでもらっています。

また年間を通して女性の方々の協力を得て毎月研修館を掃除していただき環境整備として6月から9月まで当番を組み、芝刈りを行うなど協力いただいております。

地域の活動はたくさんありますが、実施に向けた取り組みは進んでいないのが現在の状況です。

私たちの町内会 ⑦

計根別町内連合会会長 佐藤 良文

計根別町内連合会では5町内会で構成されていますが、全世帯357戸中

294世帯加入、加入率82.4%で郡部の中にあつては、低い方と危機感を抱いております。

尚、総人口は739人です。

因みに昭和45年（46年前）と比較しますと、当時385戸で1313人、対比すると、戸数は7.3%、28戸しか減っていないのに、人口は574人、43.7%も減っております。現在、65歳以上は31%。正に少子高齢化が顕著であります。

このように戸数が減っている中、昨年まで7部会で構成されていた町連の事業活動を3部会2連携組織に再編し少しスリムにしました。

さらに、民意を問うため、町内会の今後の方向性について「まちづくりアンケート調査」を実施しました。

その中で重みづけが明らかになったことを中心に、当たり前ではなくなった町内会。加入者メリットも視野に入れた事業展開を考えています。

多くの町民が集う「町内一斉清掃日」（焼肉交流会とセット）

「町民手づくりの計根別神社祭」（計根別全域が参加する）

「計根別地域ふれあい交流会」等を中心に、幼稚園から高校まで存在する、恵まれた小さな地域、子供たちにとって「いい背中」になれるよう皆で盛り上げていきます。

中標津町の人口 23,832人
中標津町の世帯数 11,076世帯
町内会入会世帯数 5,175世帯
加入率46.7% (H29年2月末)

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のHP（生活環境）にてダウンロードできます。
(<https://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/>)

町内会についてのお問い合わせ
中標津町全町内会連合会事務局
0153-73-3111（内線220）

平成二十九年の新春を迎えて

中標津町全町内会連合会長 佐々木 俊三

穏やかな新春を迎えられた事にお喜び申し上げます。
 昨年は、全道的に異常気象がありました。特に台風の到来でもたらされた被害は大きく、未だに傷跡が残されている地域があります。
 中標津町でも避難準備情報が発令され、不安と緊張の時を過ごし、改めて防災についての危機管理意識を感じたところでもあります。
 全町内会連合会でも、現在、安心安全なまちづくりの推進を図るため、あいさつ・みまもり・高齢者を始め住民が健康で暮らせるようにと、広報紙「あかり」を通じて各町内会の活動を知って頂き、一人でも多くの参加協力を頂きたいと思う次第です。
 これからは高齢化も進み、大変な時代に向かいます。若くても他人事ではありません、町内会は個人の利益を追求せず、地縁を持って地域を支える組織です、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

中標津町長と懇談会の開催



西村町長と懇談会

去る12月21日西村 穰町長と全町内会連合会（全町連）との懇談会が開催されました。

懇談会の目的は、新町長に対して、全町連の活動方針や現状についてのご理解とご支援を頂くためでした。

全町連からの出席者は、佐々木会長、原、延、中野、佐藤、長正路副会長及び佐々木総務部長の7名です。

その中で、全町連では、町民が健康で安心して生活できるまちづくりをめざし、災害に備えての見守りや助け合い等に取り組んでいます。

町内会への加入率が低い（46.8%）のが課題であり、この解決に向けての一步として、町内会がどんな活動をしているかの情報提供に努力していること。ちなみに、全町連では、昨年からの情報紙「あかり」（年4回発行予定）の紙面で町内会の活動を広報しており、町へお願いとして、町内会の動きを町のホームページへ取り込みしてもらいたいこと。また、町民の困りごとの解決に向け町役場の組織やその役割をわかりやすくしていただきたいことなどをお話しさせていただきました。

西村町長からは、災害に備えての見守りでは、町内会と町の福祉支援の協働により効果を高めてほしい。町内会への加入率が低い現状は受け止めたが、情報の共有化を基礎に、多くの町民が参加・加入できるよう粘り強い取り組みを。町内会の動きを町のホームページへの取り込みについては、検討・工夫する余地があると思う。また、駐車場に高齢者マークの表示の要請については、障害者マークの表示には広く高齢者の方も含んでいるのでご理解をとのことでした。

中標津町全町内会連合会

町内会長会議の開催



全町連 町内会長会議

11月21日に全町連 町内会長会議が開催されました。（24町内会参加）

内容は

一、道東ブロック町内会活動研究大会（帯広市）の研修参加報告

第一分科会「町内会の福祉活動について考える」

住み慣れたまちで誰もが安心して暮らせる地域づくり （原 副会長）

第二分科会「町内会の防災活動について考える」

安心して暮らすために災害に備えた対応を確認 （三浦 事務局）

第三分科会「町内会の育成について考える」

加入促進は関係機関と協力しながら

二、今年より発行を始めた全町内会連合会だよりについて。及び1月開催の新年交流会について説明がありました（佐々木総務部長）

三、女性部より活動報告及び標津町標津地区町内会連合会女性部との交流について発表がありました。

四、新しい介護保険制度の動きについて中標津町菅原介護保険課長より講演をいただきました。（端 女性部長）

中標津町の現状と将来、近隣との比較の説明後、中標津町では、既存のサロンや町内会に介護保険の負担をさせる事はありませんが、みまもり活動、介護予防等への協力をこの説明でした。

私たちの町内会 ④

緑町町内会会長 中野美津子

緑町町内会は、地域範囲が広く緑町・緑ヶ丘・南中そして東当幌の一部です。会員は106戸、全世帯数は292戸なので加入率36.3%と低い状態です。

会社の事務所、又マンション、貸家などに住んでいる人の加入は全くありません、その中でいかにして加入率を増加させるかが、役員の悩みでもあります。

町内会の活動として

①春は朝、新入学生の見送り隊として、三役と交通防犯部で1週間続け、顔を覚えてもらいます。

②女性部のつどい茶話会

③春のゴミ拾い、終了後焼肉交流会

④国道三角公園の管理

花植え、草取り、草刈りで5ヶ月間手入れします。

⑤開陽台マラソン大会の警備手伝い

⑥親睦ふれあい祭り

親睦を深めて全員で準備作業から始まります。

⑦子供育成部 夏休み中だけのラジオ体操、花火大会

⑧敬老会 65才以上の参加です

女性部が中心でお楽しみ会

⑨秋のゴミ拾い、公園の花壇整理

⑩町内会対抗の親睦ソフトボール大会、応援も楽しみます

⑪町内会新年会

女性部では年齢に関係なく、月一度の茶話会を行なっています

親睦交流を深め、声を掛け合い、安心して暮らせる町内会を全会員で

私たちの町内会 ⑤

東中町内会長 延 寿（のぶひさ）

東中町内会は元々十数戸の小さな地域でしたが、次第に住宅が建ち、さらには公営住宅が出来たり、幼稚園や

学校・病院などが建ち、現在のような大きな規模の町内会となっております。平成28年10月現在で戸数814戸と一番大きな町内会ではありますが、町内会の入会率は50%を割ってしまい、45%程度となっております。何とか加入率を上げる工夫をしなければならぬと考えているところであります。

さて、東中町内会の行事は次のような取り組みをしております。

① 5月の一斉清掃は高等養護学校生徒も協力してもらい、清掃や花壇づくりを行っています。終了後は、シンギスカンで交流（さくら祭り）

② 7月は一斉草刈作業さらには中標津神社祭りの山車行列に参加

③ 8月は夏休みラジオ体操・流しソーマン大会（三世代交流事業）の実施

④ 9月はパークゴルフ大会開催

⑤ 10月は町協会のソフトボール大会に参加

⑥ 12月は子供もちつき大会、さらには交通防犯部の歳末パトロール実施

⑦ 1月は新年交流会開催

他に福祉部を中心とした、安全・安心見守り活動や絵手紙の取り組み、月に2回実施のなかよしサロン活動にも積極的に関わっております。また女性部を中心に古紙回収作業やいろんな園への奉仕活動にも取り組んでいます。

中標津町の人口 23,888人

中標津町の世帯数 11,094世帯

町内会入会世帯数 5,191世帯

加入率 46.8% （H28年11月末）

中標津町全町内会連合会だよりは、北海道町内会連合会正会員組織「タバス」（根室管内、中標津町）でダウンロードできます。

町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局
 0153-73-3111（内線220）

元気な住民を増やし、健康増進に取り組んでいる
町内会等の活動事例

今日、高齢化が進む社会にあって、元気な高齢者や住民を増やし、病気や介護のリスクを減らして行く事が求められております。

中標津町全町内会連合会では、高齢者をはじめ、住民の皆さんが健康で安心して暮らせるように地域での取り組みを呼びかけております。

本町の各町内会においては、住民の誰もが元気で健康増進を図るような取り組みを進めております。このような中で、住民の運動や親睦のためにラジオ体操に取り組んでいる町内会や中標津地区ラジオ体操会等の活動事例を紹介します。

南町町内会ラジオ体操の会

南町町内会では平成25年4月に「南町ラジオ体操の会」を立ち上げ、同年5月から現在まで毎朝6時30分から社会福祉センター（フラット）駐車場において実施しております。実施のきっかけになったのは会員の中から「運動や親睦のために、町内会でラジオ体操をやってみようか」という声があがったことです。以来、今年で4年目になりました。実施期間は4月1日から10月末まで、毎朝、30〜40名が参加して



南町町内会ラジオ体操の会

和やかに行われております。先日、台風のような強風が吹かない限り雨の日でもフラットの広い軒先を借用して行っています。会員の中からは「体が動くようになった」「帰りにみんなで近況などを話し合うことができて楽しい」などの声が聞かれます。学校の夏休み中は子どもたちも参加して賑わいました。これからも住民の健康や親睦のために継続していく予定です。

（南町町内会長）

西町町内会ラジオ体操会



西町町内会ラジオの体操会

西町町内会ラジオ体操会は、平成23年4月から中標津地区ラジオ体操会の元会長の杉本さんの協力を得て立ち上がりました。開催当時は35名近くの人数で行われていましたが、現在は15名位で80歳代から3歳児の小さいお子さんまで幅広い年齢で、毎日元気に活動しています。開催当初から携わっている近藤前会長は「みなさんの元気な顔をみられることと、それぞれが健康のために続けていますが、各会員が自発的に活動してくれることが続けられる要因です。」と話してくれました。

（西町町内会長）

中標津地区ラジオ体操会

平成6年から始まった中標津地区ラジオ体操は中標津町総合文化会館「しるべつ」の駐車場を会場に、4月1日〜10月の体育の日迄開催しており、参加人数は毎回100名を超え、遠方の方は自転車に参加する方もおり、町民の健康増進に役立っているのももちろん、中標津でのラジオ体操の草分けで、22年間の活動実績は、さらに他の地域へと広まるきっかけとなりました。今後とも継続活動を行く予定です。

（中標津地区ラジオ体操会）



中標津地区ラジオ体操会

私たちの町内会 ②

栄町内会長 佐々木俊三

栄町内会は、東西は大通りを含めて東2条まで南北は標津川を挟み自動車学校の位置する高台地区まで構成されており、大通り側は商業地域であり自動車学校の方は住宅地です。会員加入は174戸で世帯数は351戸なので加入率は約50%です。最近急速に生活環境が変化しており、隣り近所の方と付き合いが無くても何一つ不便を感じる事もなく、逆に煩わしく思われ、高齢者を含む一部会員が辞める事があり組長

私たちの町内会 ③

川西町内会長 原 怡男

川西町内会は、昭和56年に32戸の有志により結成され、現在は106戸に発展。しかし全世帯数は284戸なので、加入率は37.3%と低い状況。こうした現状を踏まえ、多くの住民が参加・加入できる町内会をめざし、若い若きも皆が仲良く幸せを感じられるような地域づくりに努めております。

そのため、主な活動として

- ①町内会がどんな活動をしているかを、「町内会だより」（全戸配布）や回覧（全8組）で広報。
- ②地域の環境整備のため、春、秋の一斉清掃（範囲は町内会館周辺から

ら道道俣落線の石田病院周辺の約4kmを参加者（親子も）の協力で実施。
③安心・安全のまちづくりに向け災害に備え高齢者の見守りや支援の活動。
④親睦や文化・スポーツ活動として、春の観桜会・秋の観楓会で焼肉を囲んでの交流、「作品展」（今年で7回目）やパークゴルフ大会をはじめ、夏休み中のラジオ体操や子供餅つき大会、新年会で楽しく交流。
⑤西町町内会と協力して「花と緑のまちづくり」
⑥道路やごみ等の生活課題の解決に、町役場との協働。
今後は、これらの活動を継続するとともに、住民が健康で安心して暮らせるよう地域での支え合いに努める。
地域デビューは、隣近所でのあいさつ、声かけ、助け合いから。

中標津町全町内会連合会役員名

顧問		会長		副会長		理事		監事	
小野弘	佐々木俊三	原 怡男	延 寿	中野美津子	佐藤 良文	長正路 清	須崎 剛	菊池 勤	佐藤 一美
坂脇孝一郎	細谷 明	菊池 雅智	横田 千秋	有原 國男	生田 勲	端 裕子	小嶋美智子	飯島 郁夫	館下 裕典

中標津町の人口 23,889人
中標津町の世帯数 11,074世帯
町内会入会世帯数 5,193世帯
入会率 46.9%（H28年8月末）

町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町連合会事務局

0153-73-3111

（内線2200）



平成28年度定期総会 安心・安全な住みよいまちづくりの推進

平成28年度の中標津町全町内会連合会の定期総会が5月18日(水)、ウエディングプラザ寿宴にて開催された。

来賓の中標津町副町長・中標津町社会福祉協議会会長をはじめ、約30名の町内会長が参加して「安心安全なまちづくりの推進」を活動方針とする事業計画や予算を承認した。

開会式の挨拶で佐々木会長より「介護保険の取り組みに向き合い気の抜けない状態にある。安心安全な地域づくりのため、会員相互の連絡、共助について一層取り組みなければならぬ」との決意が述べられた。

来賓の宮川副町長より「地域コミュニティの重要性に鑑み、本町での自治基本条例に町内会の重要性を認識し、町や議会が支援するとしています。これを踏まえ、全町連におかれては、安心・安全

なまちづくりや会員の加入促進を図っていただきたい」と期待を寄せる言葉をいただきました。

このあと総会の議長に中央町内会の菊池勤氏が選出され議事に入りました。

前年度事業報告・決算・監査報告がなされ承認されました。

次に本年度の事業活動計画(別記)、予算案の審議に入り積極的な発言や意見交換を経て、承認されました。

△活動方針への意見▽
町内会への参加加入促進
○もう少し強い働きかけや踏み込んだ取り組みが必要である。
○町では自治基本条例を制定し町内会の重要性を示していますので、町や議会、町内会が協働し町全体で取り組む仕組みを工夫すべきではないか。

○会長より、参加加入促進について、どのような方法が良いのか、各町内会や全町連としての取り組みや、さらに行政や関係機関

への働きかけなど前向きに検討したい。

▽熊本地震災害への支援
○単位町内会で独自に取り組んでいるところもあるが、全町連としての方針を知りたい。

○全町連としての方針
各町内会からの義援金(任意)と全町連からの義援金三万円を合わせて日本赤十字社に寄附する。

へ別記へ

平成二十八年度事業活動計画

◇活動方針と主な方策

一 安心・安全な住みよいまちづくりの推進を図る。

○あいさつ・みまもり・助け合い運動を推進する。

○高齢者をはじめ、住民が健康で安心に暮らせるように地域での支え合いを図る。

二 情報のあるまちづくりを進める。

○町内会活動の情報を地域住民へ提供し、共有されるように工夫する。

○全町連として、生活情報紙「あかり」を通して広報活動を進める。

三 町内会への関心や参加・加入を促すように工夫する。

○町内会の存在を知らせ、その役割や活動の理解を促す。

○多くの住民が町内会の活動に参加・加入できる仕組みを工夫する。

四 なかしべつ330。開陽台マラソンに協力する。

◇各部の事業

へ総務部へ

・会務運営の充実を図る。
・情報紙を発行する。
・諸会議・新年交流会の実施
・町内会への加入を促進する。

へ厚生福祉部へ

・地域福祉の向上に連携を図る
・高齢者の実態を把握し、地域での支え合いの仕組みの工夫

へ環境衛生部へ

・全町一斉清掃の実施
・道路縁石の雑草除去
・ゴミ減量に関する調査研修
・資源回収運動の推進
・保健、衛生意識の啓発

へ交通防犯部へ

・安全で住みよいまちづくりの推進(犯罪、青少年の非行、交通事故に対する防止策)
・交通安全運動への参加
・防災、防火思想の普及
・自主防災組織の普及

私たちの町内会①

泉中央町内会長 佐々木 優

へ子供育成部へ
・子供育成部運営会議
・子供下の句カルタ練習会
・関連団体との連携・協力

へ女性部へ
・女性部活動の強化
・女性部自主活動の推進
・各種住民運動への参加

泉中央町内会の会員世帯数は107世帯で全世帯数300世帯なので加入率は35.6%と加入率の低い町内会です。

古くに形成された住宅街で、公営住宅、道営住宅、マンション・アパートが多く、半分以上の世帯が占めており、中でも民間アパートと道営住宅の町内会加入数は合わせても数件という状況です。

最近では、独居老人世帯が辞めるケースも出てきており、役員一同頭を悩ませています。

防止対策として、昨年より「町内会だより」を年四回発行し、総会資料も各戸に配る等、情報提供に努めているところです。

行事は、春・秋のゴミ拾い、街路花壇の整備、草刈り、開陽台マラソンの手伝い、いずみふれあい夏祭り、敬老の日のプレゼント、防犯パトロール、保育園での餅つき手伝い、お正月の餅つき大会、三町内会連携の資源回収、西部地域まちづくり協議会での親子風あげ大会と多くの行事を行っています。

ただ、あまり行事を多くすると役員の負担が増える事もあり、あまり力まず、無理せず、今いる会員の方が楽しく、充実した生活を送れるような町内会にも思っています。

その姿を見て、加入してみたいと思える人が増えていただける事を願い、今年一年間頑張ります。

町内会についてのお問い合わせ

中標津町全町内会連合会事務局

0153-173-3111

(内線220)